

台風6号の接近に伴う強風、大雨に対する農作物等の管理対策

徳島県立農林水産総合技術支援センター
高度技術支援課

現在接近が予想されている台風6号は、今後の進路によっては強風や大雨による農作物等への影響が懸念されていることから、農作物等の管理にあたっては、次の対策を参考にしてください。

※大雨中は、非常に危険なので、用排水路には近づかないでください。

〈共通事項〉

- 1 事故防止の観点から、ほ場の見回り等については、気象情報を十分に確認し、台風通過後の増水にも、十分注意して行ってください。
- 2 台風通過前後に薬剤を使用する際には、農薬の使用基準を遵守し、周辺への飛散低減対策を講ずるとともに、適時適切な散布を行ってください。

1. 水 稲

- (1) 出穂期から出穂直後のほ場では深水管理とし、台風通過時の気圧低下による急激な蒸散や、暴風による傷みを防ぎましょう。
- (2) 成熟期に達しているものは、速やかに刈り取りましょう。
- (3) 排水路、排水口の整備を行い、長時間冠水しないように努めましょう。

2. 野 菜

(1) 露地野菜

- ・ いちご等育苗中のものは、寒冷紗等でべたがけ被覆しましょう。
また、いちごは炭そ病の予防散布も行いましょう。
- ・ 夏秋なす等の果菜類は、支柱および防風ネットを補強するとともに、Mサイズ以上の果実は、収穫しておきましょう。
また、夏秋なすは褐色腐敗病の予防散布を行いましょう。
- ・ 冠水や浸水のおそれのあるほ場は、溝切りや排水溝の清掃をしておきましょう。

(2) 施設野菜

- ・ ハウス栽培では、取り付け金具の締め直しやハウスバンドの固定、側杭の補強を行うとともに、防風ネットなどをよく点検しておきましょう。
強風時にはハウスを密閉し、換気扇を作動させましょう。
- ・ ハウス周辺に排水溝を設けておきましょう。

3. 果 樹

(1) 露地果樹

- ・ 風が当たりやすい園地は、防風ネット等を予め設置しておきましょう。
広い園地は、園内を区切って防風ネットを設置しましょう。
- ・ なし、ぶどう等の棚栽培は、支柱等を設置して落果や擦傷を防止しましょう。
- ・ 幼木等の倒伏しやすい樹は、支柱を立てて固定し、倒伏を防止しましょう。
- ・ 排水溝の設置と清掃を行いましょう。

(2) 施設果樹

- ・ ハウス栽培で、ビニールや防風ネットを被覆している場合は、取り付け金具の締め直しやハウスバンドの固定、側杭の補強を行いましょう。
- ・ ハウス周辺に排水溝を設けましょう。
- ・ 強風時にはハウスを密閉し、換気扇を作動させましょう。

4. 花 き

- (1) ほ場の排水対策を行い、冠水、湿害の発生を回避しましょう。
- (2) 露地花きはネット等の支柱を増強し、倒伏を防ぐとともに、必要に応じて周囲に防風ネット等を張り、風による損傷を軽減しましょう。
- (3) 鉢育苗中の苗等は室内に取り入れたり、ネットをかけるなどして鉢の飛散や茎葉の損傷を防ぎましょう。
洋ランの山上げ場では、鉢が棚から転落しないように固定等に努めましょう。
- (4) 施設栽培では、ハウスバンドの締め直し、側杭の補強などハウスの点検・補強を行い、強風時にはハウスを密閉し、換気扇を作動させましょう。

5. 畜 産

- (1) 畜舎、屋根、カーテンなどを点検し、家畜に被害のないようにしましょう。
トタンなど、風で大きな音を出す場合、家畜に不安感を与えるので早めに修理しましょう。
- (2) 飼料置き場、堆肥舎等を点検し、濡れたり流出しないようシートで覆いましょう。

6. 飼料作物

- (1) ほ場の排水対策に努め、湿害の発生を回避しましょう。